

A piece of light-colored driftwood is placed inside a white, textured ceramic vase. The wood extends upwards and then curves to the left, resting on the rim of the vase. The background is a plain, light-colored wall.

# 青山の昼下がり 第三章

藤沢周平 作「<sup>はし</sup>驟<sup>あめ</sup>り雨」

望月鏡子 / 浪久圭司 / 野間脩平  
松本由美子 / 川口和代

2021/10/7 thu.14:00~(開場 13:30)  
千代田区立内幸町ホール 全席自由 2,000 円

人間が他の動物と大きく異なる特色は、言葉を使って自らの意思と情報を仲間に伝えている、  
と言う点である。人との交流によって、より人間らしく社会の中で生きているのである。

だが、このコロナ禍の中、その根本が大きく歪められようとしている。映画を見たい、芝居を  
観たい、歌をみんなで唄いたい。そんな人としての楽しみを、制限されて暮らさねばならない。

そんな今だからこそ、多くの朗読を愛する仲間たちとともに、我々の文化を守り、そして朗読  
というささやかな楽しみを守り続けていこうと思う。 青山の昼下がりを保存する会

## 三浦哲郎 作「たきび」

ストーブの火に見入る男。時々亡妻の声が耳許で囁く。この作品を読めば、私にも亡妻が囁いてくれるかと…。

## 江國香織 作「桃子」

ホラー？ それとも幻想？ 一途な恋心は青い花となって修行僧の頭上で美しく咲いた。そして…

## 室生犀星 作「姫たちばな」

平安朝の夕々、夕雲は錦のボロのように燦爛として沈んで行った・・・  
詩人・犀星の色彩豊かな情景描写に心惹かれます。

## 山本周五郎 作「横笛」

幕末、男たちは、命をかけて国のために働いていた。が、その陰で妻たち女性の力が、いかに男を支えていたのか、思い知らされた、傑作である！

# はし あめ 藤沢周平 作「驟り雨」

望月鏡子 / 浪久圭司 / 野間脩平 / 松本由美子 / 川口和代

プログラムは予告なく変更することがあります。



■都営三田線 / 内幸町 A5 番出口

「内幸町交差点」右折徒歩 4 分

■メトロ銀座線・都営浅草線 / 新橋駅 7 出口

■JR 新橋駅日比谷口第一ホテル方面

いずれも徒歩 5 分

お申し込み・お問い合わせ / 松本由美子 (045-410-6429)

千代田区立内幸町ホール 全席自由 2,000 円

千代田区内幸町 1-5-1 Tel: 03-3500-5578

内幸町ホールのガイドラインに従い、感染防止策を徹底した上でお待ちいたしております。お気をつけてお越しください。